

社交不安症(SAD※)

エシタロプラム錠 「ニプロ」を服用される 患者さまとご家族の方へ



※SAD : Social Anxiety Disorder 社会不安障害、社交恐怖とも呼ばれることがあります。
エシタロプラム錠「ニプロ」の効能・効果は社会不安障害です。

1 治療を始めるにあたって

社交不安症(SAD)の治療では、主に「お薬の服用」と「精神療法」が行われます。

この冊子では、「お薬(エスシタロプラム錠「ニプロ」)の服用」について説明します。

治療を始めるにあたり、気になることがあったら主治医に相談しましょう。

恐怖や不安にとらわれない社会生活へ

地域との
交流



仕事・
社会生活



学校生活



2 社交不安症(SAD)になる原因

原因は、はっきり分かっていませんが、「脳内の情報伝達信号の乱れ」や、本人に「不安体質」があると、生じやすいと言われてい

原因

1

脳内の情報伝達信号の乱れ

社交不安症(SAD)の人は不安な状況に対し、健康な人よりも脳の反応が過敏になっています。

また、**脳内の神経伝達物質のバランスが乱れ**、特に「恐怖・不安」を和らげる役目を果たすセロトニンの量が低下していると考えられます。

原因

2

不安体質

もともと対人関係の不安を感じやすい体質の方(心配性、責任感が強い、完璧主義、人から良く思われたいなど)は、社交不安症(SAD)になりやすいこともわかっています。

緊張や不安を感じやすくなる社会環境におかれていることも一因となります。

3 社交不安症(SAD)の特徴

社交不安症(SAD)は、著しい恐怖や不安、その結果として社会的状況を回避することなどによって、社会生活の妨げになることがあります。

このような場面で、次のような症状があらわれることがあります。

顔が赤くなる、手足・声がふるえる、多量に汗をかく、声が出ない、口が渇く、息苦しくなる、吐き気がする、食事がのどを通らない、尿が近い・出にくくなるなど



著しい恐怖または不安を感じる社交場面の例



人前での発表



人と接すること



周囲からの視線



人々の注目を浴びる



人前での食事



人前で文字を書く



人前で電話をかける



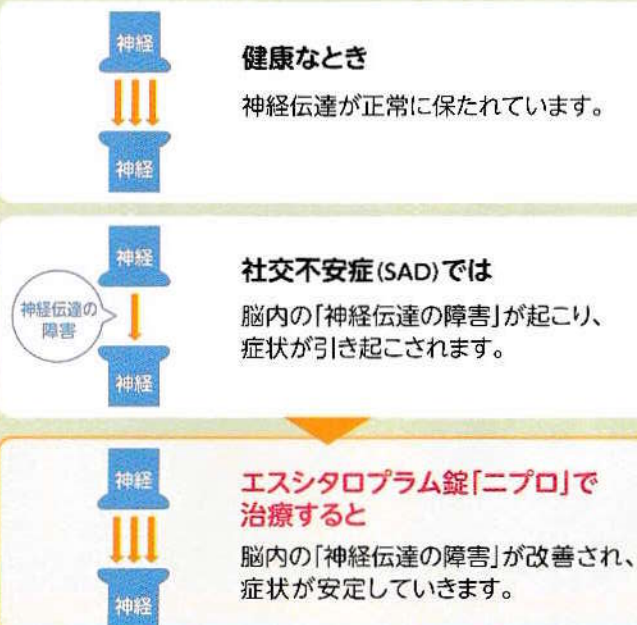
公衆トイレで用を足す

4 エシタロプラム錠「ニプロ」とは

エシタロプラム錠「ニプロ」は、社交不安症(SAD)を改善するお薬です。

飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、著しい恐怖や不安を和らげます。

エシタロプラム錠「ニプロ」の働き



5 治療の効果

服用開始

効果発現

回復・改善維持

飲み始めは、すぐに効果はあらわれませんが、飲み続けると、我慢できないような不安が減ってきて、効果を実感できるようになってきます。

強い不安を感じる事が少なくなり、社会生活を送ることができるようになっていきます。

※体調がよくなったとご自身で判断してお薬の服用を中止したり、量を減らしたりせず、主治医の指示どおりに飲み続けることが重要です。

服用期間中は主に

●悪心 ●眠気 ●頭痛

などの副作用があらわれることがあります。

副作用がきつから、または不安症状がなくなってきたから、といってご自身の判断での服用中止・減薬はせず、必ず主治医に相談し、主治医の指示に従ってください。急な服用中止は、副作用の悪化や不安症状の悪化につながる可能性があります。

※服用中の注意点についてはP9をご参照ください。

6 エシタロプラム錠「ニプロ」服用 前の注意点

次の方は、エシタロプラム錠「ニプロ」を使用することはできません。
服用前に、必ず主治医に相談してください。

- ① 過去にエシタロプラム錠「ニプロ」に含まれる成分で、アレルギーなどの過敏症が出たことがある方
- ② セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩を服用中、あるいは服用を中止してから14日以内の方
- ③ ピモジドを服用中の方
- ④ QT延長（先天性QT延長症候群など）のある方
— 現在、心臓の病気（不整脈、狭心症、心筋梗塞、心不全）の治療を受けていたり、今まで心電図検査で何らかの指摘を受けたりしたことがある方は、QT延長がある可能性がありますので、主治医にお伝えください。

他のお薬を服用している場合や、
新たに服用する場合は、主治医に相談してください。

次の方は、エシタロプラム錠「ニプロ」を使う際に特に注意が必要です。
服用前に、主治医と十分に相談してください。

- QT延長を起こすことが知られているお薬を使用している方、不整脈（著しい徐脈など）がある方、または過去に不整脈（著しい徐脈など）と診断されたことがある方、うつ血性心不全、低カリウム血症のある方
- CYP2C19（エシタロプラム錠「ニプロ」を分解（代謝）する酵素）の活性が遺伝的に欠損している方（Poor Metabolizer）
- 死にたいと強く思ったり考えたりしたことがある方
- 躁（そう）うつ病の方
- 脳に器質的な障害があると診断されたことがある方、または統合失調症になることが考えられる方
- 衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している方
- てんかん等のけいれんをおこす病気のある方、または過去にてんかんなどのけいれんがあった方
- 出血の危険性を高める薬剤を使用している方、出血しやすい方
- 閉塞隅角緑内障の方
- 腎臓に高度の障害のある方
- 肝臓に障害のある方
- 妊婦または妊娠している可能性のある方
- 授乳中の方
- 小児
- 高齢の方

7 エシタロプラム錠「ニプロ」の服用方法

1日1回夕食後に決められた錠数をコップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。



錠剤写真(実物大)、PTP写真(60%縮小)

8 エシタロプラム錠「ニプロ」服用中の注意点

エシタロプラム錠「ニプロ」を服用しているときには、次のようなことに注意してください。

①飲み忘れないように、毎日夕食後にきちんと飲みましょう。

飲み忘れた場合は、気が付いたときにできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は忘れた分は飲まないで、次の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲まないでください。間違えて多く飲みすぎてしまったときには、主治医に連絡してください。

②定期的に診察を受けましょう。

社交不安症の治療中は、お薬の効果の確認や副作用を早く見つけるためにも、定期的に診察を受けてください。

③「治った」と感じていても、飲み続けましょう。

このお薬は、ご自身の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、めまい、感覚の異常、頭痛、吐き気などの症状があらわれることがあります。このお薬を中止する場合は、主治医と相談しながら時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。主治医の指示どおりに飲み続け、最後まで治療を続けてください。

④次のような症状があらわれた場合は、すぐに主治医や薬剤師に相談しましょう。

- ・不安感が強くなり死にたいと思うなどの症状があらわれた場合
特に飲み始めや飲む量を変更したときに、このような症状が出る場合があります。
- ・不安が急に強くなる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができないなどの症状があらわれた場合

⑤ご家族の方は、患者さんの状態を観察し、変化がみられた場合は主治医や薬剤師に相談しましょう。

ご家族の方は、患者さんの状態が④のように変化する可能性について、主治医から十分に説明を受け、患者さんをよく観察してください。また、患者さんご自身も症状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。

⑥眠気、めまいなどの症状があらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には十分注意してください。

⑦このお薬を服用中は、飲酒を控えてください。

⑧次のような症状があらわれた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。

- ・悪心、眠気、頭痛、口の渇き、めまい、倦怠感、下痢、腹部不快感など
- ・射精障害、射精遅延、性的な関心や性欲の低下などの症状を自覚された場合

⑨その他、気になることがありましたら、主治医または薬剤師に相談してください。



ニプロ株式会社

RMP

2022年8月作成(MW)
[審2211084475]